

# 世界各地の暮らし

## 雪と氷の中でくらす人々

### (1) イヌイットの生活

アメリカのアラスカやカナダ、グリーンランドなどの北極海沿岸には約 15 万人のエスキモー民族が暮らしている。これらの先住民族のうち、カナダに住む民族を\_\_\_\_\_という。

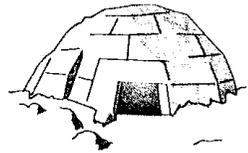
[参考]アラスカに住む民族はユピクやイヌピアトと呼ばれる。



① 気候 北極海沿岸は、短い夏に昆虫や植物が現れるだけで、1年のほとんどは雪と氷でおおわれているため作物はできない。従って、狩りや漁をして暮らしていた。

② 生活 夏は雪がとけた沿岸にあざらしの皮でつくったテントを建てて\_\_\_\_\_ (野生のトナカイ)を追い、石の貯蔵庫に肉を保存する。冬は海の氷の上に雪を固めて積み上げた\_\_\_\_\_に住んで狩りをする。あざらしやカリブーの肉、イヌイットの食事の中心であった。

③ 衣服 動物の皮や毛皮を利用した衣服で、厳しい寒さから身を守った。

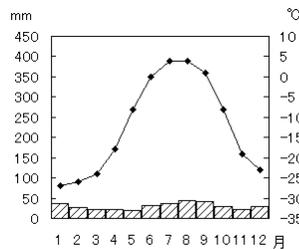


### (2) 変化した生活

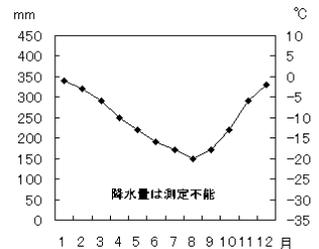
近年、北極海周辺は、地下資源の開発のため、多くの人々が入り出りするようになり、イヌイットの生活も大きく変化した。狩りや漁だけで暮らす人は、少なくなり道路工事や石油会社に勤める人々も増えてきた。住居は電気の使える木造の家になり、食事でも穀物や野菜を買って食べるようになった。狩のときに利用した犬ぞりも現在では\_\_\_\_\_が用いられるようになった。

### (3) 寒帯の気候

北極・南極の周囲は「寒帯」といい、1年中氷や雪におおわれた「氷雪気候」と短い夏の間、表面の氷や雪が溶けて、草やコケが育つ「ツンドラ気候」とに分けられる。



ツンドラ気候



氷雪気候(南極)

# 世界各地の暮らし

## 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々

シベリアは\_\_\_\_\_大陸の北部をしめる広大な地域で、一年の気温の差が大きい\_\_\_\_\_帯〔亜寒帯〕の気候である。夏は短いが比較的高温になるため、\_\_\_\_\_と呼ばれる針葉樹の森林が広がっている。しかし、タイガの下には、\_\_\_\_\_（一年中凍ったままの土）がある。近年、この永久凍土が夏にとけ出し、湿地になり、木が育たない。



### (1) シベリアに住む人々のくふう

- ① 衣服 冬になると厚いコートを着て、大きな帽子をかぶる。
- ② 住居 太い丸太を組み合わせた\_\_\_\_\_が多い。窓はがんじょうな\_\_\_\_\_窓、玄関のとびらは厚い木のとびらを用いて厳しい冬の寒さを防いでいる。

### (2) 都市の暮らし

イルクーツクは 60 万人近い人々が近代的なアパートに住む。

## 温暖な土地に暮らす人々

### (1) 地中海沿岸にあるイタリア

イタリア中部は、日本の\_\_\_\_\_と同じくらいの緯度にあり日本と同じ温帯に属しているがイタリアは\_\_\_\_\_性気候区であるため、日本のような\_\_\_\_\_がなく、冬でも温暖である。6～8月の夏は暑く乾燥していて、雨の多くは冬に降る。

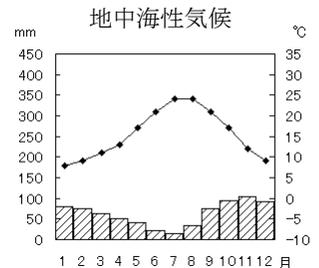
- ① 住居 丘の上に古くから栄えた町が見られ、かべは\_\_\_\_\_でつくられている。夏の強い日差しを防ぐため、窓は小さく、窓の外側は木のブラインドがある。
- ② 農業 暑く乾燥した夏に適している\_\_\_\_\_や\_\_\_\_\_、トマトの栽培が行われている。

### (2) 現代に生きる古くからの町並み

イタリア中部にある都市ペルージャは、紀元前につくられた町で、町の中心は広場になっている。広場に面してキリスト教の大聖堂がある。

### (3) 温帯の気候

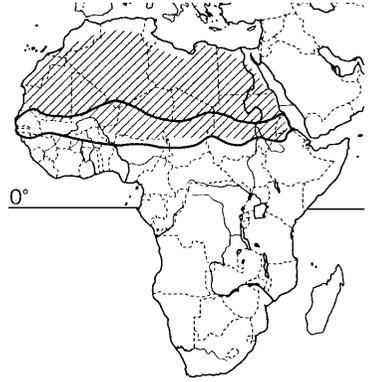
温帯は、偏西風の影響で年間を通じて降水量が一定している「\_\_\_\_\_気候」と、東南アジアや日本のように夏の季節風（モンスーン）の影響で降水量の多い「温帯（温暖）湿潤気候」、イタリアのように冬に雨が多く、夏に乾燥する「\_\_\_\_\_気候」に分けられる。



# 世界各地の暮らし

## 乾燥した土地にらす人々

アフリカのサハラ砂漠はとても乾燥していて雨が少ない地域で、地下水がわき出る\_\_\_\_\_以外では樹木はほとんど育たない。サハラ砂漠の南に接する「サハラのふち」という意味で\_\_\_\_\_と呼ばれる。



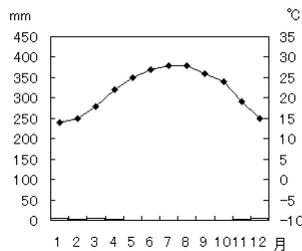
### (1) 農業

① \_\_\_\_\_農業 サヘルなどで行われている農業で、草原を焼き払って畑をつくり、灰を肥料として活用、少ない雨を利用し、乾燥に強いひえやきび、もろこしを栽培している。また、ブルキナファソなどでは、かんがい(耕地に水を引くこと)設備が整備されている。

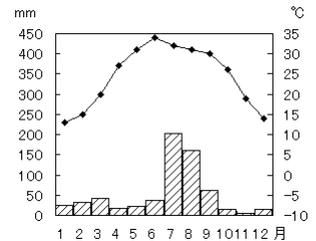
② \_\_\_\_\_化 人口が急激に\_\_\_\_\_したため、土地を休ませずに耕作や放牧が行われ、まき木を切り過ぎてやせた土地が増加した。砂漠化をふせぐために、かまどを改良してたぎぎの消費を減らしたり、植林をしたりしている。

### (2) 乾燥帯の気候

アラビア半島や北アフリカなどの降水量の少ない地域を「乾燥帯」といい、雨がほとんど降らず、植物が育たないため、岩石や砂におおわれた「砂漠気候」と、短い雨季があり、短い草が生えている「ステップ気候」とに分けられる。



砂漠気候



ステップ気候

# 世界各地の暮らし

## 常夏の島に住む人々

フィジーは約 330 あまりの島々からなり、南太平洋にある島国の中では比較的規模の大きい国である。フィジーは、1 年中気温が高く、季節の変化はない。うっそうとした\_\_\_\_\_林があり、オレンジ、グアバ、マンゴー、バナナ、ココヤシなどが自然に育っている。

### (1) フィジーの人々の暮らし

- ① 食事 昔から住んでいるフィジーの人々はおもに最大の島であるビチレブ島に人口の半分以上が居住し、農村に住む人々は自給自足に近い生活をおくっている。主食の\_\_\_\_\_やキャッサバ、ヤムいもを栽培し、ゆでたり蒸し焼きにして食べる。

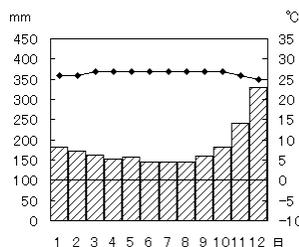


- ② 住居 木や竹、草で作られ、屋根は\_\_\_\_\_でおおう。土間はごぎをしき、風通しをよくしている。現在では、トタン屋根やコンクリートブロックの家が増えてきている。
- ③ 衣服 以前は樹木の皮でできた布をまとうだけであったが、ズボンやTシャツや、カラフルなワンピースが目立つようになってきた。
- ④ 産業 フィジーはかつてイギリスの植民地であり、当時やはり植民地であったインドから多くの農民を連れてきて、さとうきびの栽培を行った。現在ではインド系住民が約半分を占める。また、フィジー人は、バナナやココヤシを栽培して現金を得ている。ココヤシの実には脂肪分に富み、乾燥させて\_\_\_\_\_をつくり、石けんやマーガリンの原料として出荷される。日本には\_\_\_\_\_を輸出する。また、島周辺に\_\_\_\_\_礁が広がり、\_\_\_\_\_業もさかん。しかし、開発によってさんご礁や\_\_\_\_\_の森が破壊されるなどの問題がおこる。

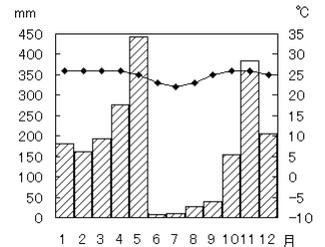
### (2) 熱帯の気候

フィジーのように 1 年中高温の地域を「熱帯」といい、たびたびスコールが降り降水量の多い「熱帯雨林気候」と、貿易風の影響で、雨季と乾季があり、まばらな樹木と草原の広がる「サバナ気候」に分けられる。

熱帯雨林気候



サバナ気候



# 世界各地の暮らし

## 高原に住む人々…ペルーとボリビアの国境付近に暮らす人々

### (1) 高山帯の気候

アンデス山脈などの高山帯の気候は、高さが 100m 増す毎に気温が 0.6℃ ずつ下がる。このため、赤道近くでは、熱帯から寒帯までの気候が、ふもとから山頂へと並んでいる。昼と夜の気温差は大きいですが、1 年間の気温の変化が少なく、春のような気候が続く。



### (2) インディオの暮らし

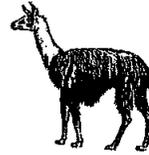
① 衣服 \_\_\_\_\_ などの毛で作った衣服で体をおおい、高地の寒さや風を防ぐためのもの \_\_\_\_\_ をはおり、帽子をかぶる。

② 生活 住居は標高 4000m 付近にある。4000m 以上の高原では作物が育たないため、アルパカや羊を放牧している。それらの毛をつむいで、布を織り、\_\_\_\_\_ に積んで、市場に運び、農作物と交換する。リヤマやアルパカのふんは \_\_\_\_\_ や \_\_\_\_\_ に使われる。近年は徐々に道路が整備され、バスが通るようになった。

[リヤマ]

[アルパカ]

③ 食事 住居より標高が低い地域では主食である \_\_\_\_\_ を、それよりさらに低く温暖な地域では小麦やトウモロコシも栽培している。らっかせい・じゃがいも・トマト・かぼちゃなどは、南アメリカが原産で、ヨーロッパ人が持ち帰り、世界に広まった。



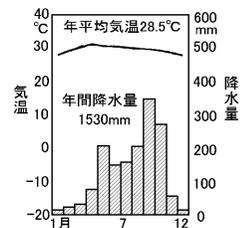
④ 住居 木が少ないので \_\_\_\_\_ や石で作った家に住んでいる。入り口は小さく、窓もない。

## 低い土地に暮らす人々… \_\_\_\_\_ 川の下流の湿地にあるタイのバンコク

(1) 人々の生活… 人々の生活と水は深い関係にある。市内にはたくさんの運河があり \_\_\_\_\_ で移動、チャオプラヤ川は重要な交通路である。住居は木造の高床式の住居がみられる。人々は小舟に乗って移動。船にたくさんの野菜や果物をのせて売る水上マーケットも見られる。

### (2) 季節により変化する川の水位…

バンコクは熱帯に属するが、\_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ がある。チャオプラヤ川は日本の大きな川とちがい堤防がない。そのため雨季になると川の水位があがり、市街地にはんらんすることがしばしばある。



### (3) 変わりつつあるバンコク…

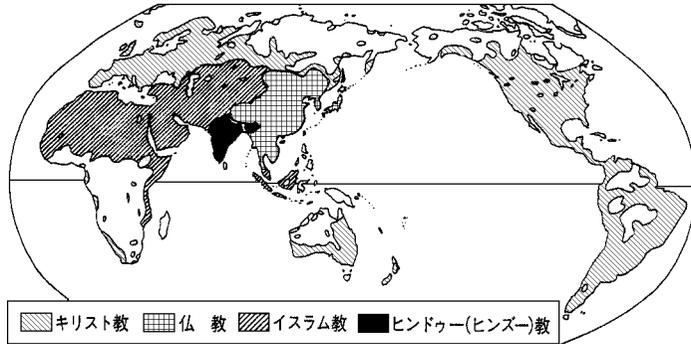
中心部には高層ビル。高速道路や新交通システムの鉄道。川にうかんだうき家や高床式の住居がだんだん姿を消している。

# 世界各地の暮らし

## 人々の生活に根ざす宗教

(1) 三大宗教 東南アジアや東アジアでは\_\_\_\_\_が、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアでは\_\_\_\_\_が、北アフリカから西アジア、中央アジアにかけて、また、マレーシアやインドネシアなど東南アジアでは\_\_\_\_\_を信仰する人々が多く。この3つを三大宗教という。

(2) その他…インドでは\_\_\_\_\_が信仰されている。



(3) 宗教の教えが書かれている経典…仏教は経、キリスト教は聖書、イスラム教は\_\_\_\_\_。

## (4) 食事と宗教

① ヒンドゥー教…神の使いである\_\_\_\_\_は食べない。

② イスラム教… \_\_\_\_\_は汚れた動物と考えるため食べないし、酒も飲まない。

## (5) イスラム教と人々の生活

7世紀初め、アラビア半島のメッカに生まれた\_\_\_\_\_ (マホメット)によって開かれた宗教である。アラーの神を信じ、マホメットの教えが書かれた\_\_\_\_\_が、イスラム教徒の生活の基準となっている。

① 礼拝 一日に五回、夜明け・正午・午後・日没・夜にメッカに向かって礼拝し、金曜日に\_\_\_\_\_ (礼拝所)に集まっているのをささげる。

② 巡礼 イスラム教徒共通の夢は一生に一度、聖地\_\_\_\_\_に行くことである。

③ \_\_\_\_\_ 毎年、イスラム暦の9月には約1ヶ月、日の出から日没まで一切の飲食をしない。また、女性はイスラム教の教えから、\_\_\_\_\_を着て、ベールで顔をおおう。

[カーバ神殿]

